

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティバス運行助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	1	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	都市計画課			
施策	322利便性の高い公共交通体系の充実	担当課室長	仲田 政樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成29年11月に利用実態調査の実施により、把握した意見、要望及びコミュニティバス利用者の利便性について運行事業者と検討を行う。	③令和元年度に取組む改革・改善内容	令和2年度でコミュニティバス運行事業者との協定が期間満了となるため、運行検討委員会による今後のコミュニティバスの運行形態を検討する。
②①に基づく取組み結果	運行ルートやバス停上屋に関し運行事業者と意見交換を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	交通不便地域の住民、高齢者を中心とした移動手段弱者	意図(対象をどうするのか)	交通手段の確保
②事務事業の概要	市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	週7日運行と高齢者の増加により利用客が増加し、更に高齢者の免許返納等や利便性向上による運行されていないルート要望が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	利用客数 129,033人(前年度比4.1%増)						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	コミュニティバス利用者数	90,089	123,932	129,033	人	業務取得
	ii						
iii							
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	48,056	47,000	金額(千円)		内容	47,340	
国支出金(千円)			47,000		補助金		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)	5,000	5,000				5,000	
一般財源(千円)	43,056	42,000				42,340	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動確保等、コミュニティバス利用者の利便性について検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	1低い	
③上記評価の理由	高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠であるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	補助金	平成30年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	補助金	47,140	47,140	当初	47,140	H29からの繰越	0
				H29⇒30繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	47,000
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
				令和元年度への繰越額(単位:千円) 0			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に支障とならないように用地取得を進める。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	千葉県と用地交換のための協議を行う。
②①に基づく取り組み結果	用地取得に係る物件調査及び不動産鑑定委託を実施し用地取得した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	県と打合せを実施する。
②事務事業の概要	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に合わせ、都市計画道路の整備を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本市の中心部から市川への主要な道路として、当該都市計画道路の整備を一級河川大柏川第二調節池整備事業に合わせ一体的に事業を進めていく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	用地を取得した。(A=498.91㎡)						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	65.7	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	1,197	27,562	金額(千円)	内容	0		
	国支出金(千円)		24,167	用地購入費			
	県支出金(千円)		2,572	物件補償			
	市債その他(千円)		824	永久標及び登記事務			
	一般財源(千円)	1,197	27,562			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	用地取得	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	用地取得(A=498.91㎡)	0	28,778	当初	28,778	27,562	H29からの繰越	27,562
				補正			現年分	
③達成状況	完了							0
④未完了・非着手の理由		令和元年度への繰越額(単位:千円)					0	